

平和意識高揚事業

1 ジュニア向け平和学習用教材の作成

広島平和記念資料館見学の事前学習や、学校・家庭等での平和教育用に、小学校低学年向けの分かりやすい平和学習用教材を 40,000 部作成しました。

2 ひろしま子ども平和の集い

若い世代の平和意識の高揚と主体的な取組の促進を図るため、平和記念式典への参列等を目的に広島を訪れる青少年と広島の青少年が、共に被爆の実相を学ぶとともに、平和へのメッセージを発表する「ひろしま子ども平和の集い」を開催しました。

開催日 令和 5 年 8 月 6 日（日）

場 所 広島国際会議場

発表団体数 10 団体

参加者 約 1,200 人



ひろしま子ども平和の集い

3 こどもたちの平和文化活動支援事業

広島市内の小・中学生による多様な平和文化活動を奨励することにより、平和文化活動を活性化させ、子どもたちの平和意識の高揚を図るため、平和文化活動（絵画、習字、作文、俳句、標語、工作等）を行った学校からの申請を受け、参加者全員に記念品を贈呈しました。

令和 5 年度は 5,949 人の参加がありました。

4 スポーツを通じた平和意識の醸成

広島東洋カープやサンフレッチェ広島など広島のプロスポーツチームの試合の場を活用して、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた平和のメッセージを発信しました。

（1）ピースナイターの開催

開催日 令和 5 年 8 月 6 日（日）

場 所 MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島
（広島市民球場）

内 容 ①大型ビジョンでの市長等のビデオメッセージ放映
②広島東洋カープの監督、選手等のユニフォームへのピースワッペン（平和のしるし）の装着



ピースナイター

（２）ピースマッチにおけるピースアクティビティへの支援

開催日 令和５年８月１３日（日）

場 所 エディオンスタジアム広島

内 容 ①大型ビジョンでの市長等のビデオメッセージ放映

②場外ブースでの被爆の実相に関するパネル展示、平和へのメッセージ募集、
平和学習資料の配布 など

５ 平和文化の振興

核兵器廃絶に向け、市民一人一人が日常生活の中で平和について考え、行動する「平和文化」を市民社会に根付かせ、平和意識を醸成する取組を実施しました。

（１）平和文化月間におけるイベントの開催等

広島市が「平和文化月間」と定めた１１月に、市民が主体となったイベントなどを集中的に実施しました。

① 平和文化月間オープニングイベント

開催日 令和５年１０月３０日（月）

場 所 広島国際会議場

内 容 広島の復興の歩みを振り返る音楽プログラム及び平和文化講演会
（講師：^{ためすえだい}為末大氏）

参加者 約２００人



講演する為末大氏

② 市民平和文化イベント

～ヒロシマの思い、世界に届け！～

開催日 令和５年１１月３日（金・祝）

場 所 紙屋町シャレオ

内 容 若い世代を中心とした平和の取組のステージ発表や展示発表

参加者 約１,０００人



市民平和文化イベント
ステージ発表の様子

③ みんなで伝え合おうヒロシマ・ナガサキ

～広島の会 2023～

（市民団体との共催事業）

開催日 令和５年１１月１８日（土）

場 所 広島平和記念資料館

内 容 広島・長崎の被爆者の思いを伝える朗読を中心としたステージ発表

参加者 約１４０人

（２）広島広域都市圏と連携した集客促進及び広報

広島広域都市圏と連携し、イベントカレンダーや啓発用グッズを通じて平和文化月間の周知を図るなど、圏域の住民や旅行客等による圏域の周遊を促す取組を実施しました。

（３）広告媒体を活用した啓発活動の実施

平和大通りへのバナー掲出、市内中心部の人通りの多い地点への啓発ポスター掲出などを行いました。

（４）年間を通じた取組

年間を通じて、市民一人一人に平和について考えてもらう機会を提供するため、平和文化をテーマとしたワークショップの開催等に取り組みました。

6 機関紙の発行等

（１）機関紙の発行

平和文化の普及と国際交流・協力の推進及び本財団の事業の広報のため、和文機関紙「平和文化」（昭和 51 年度（1976 年度）創刊）を A4 判、8 ページの体裁で 1 回 5,000 部、年 4 回発行し、令和 5 年度には 215 号まで発行しました。

また、外国人の方にも平和文化活動を広報するため英文機関紙「PEACE CULTURE」（昭和 53 年度（1978 年度）創刊）を A4 判、12 ページの体裁で 1 回 2,000 部、年 2 回発行し、令和 5 年度には 90 号まで発行しました。

令和 5 年度から機関紙をカラー化し、デザインも一新しました。また、情報の即時性の観点から和文機関紙の発行回数を年 4 回に増やしました。



和文機関紙「平和文化」



英文機関紙「PEACE CULTURE」

和文機関紙「平和文化」配布状況

令和 6 年 3 月 31 日現在

区 分	件 数	部 数
国内個人・団体	419	498
市内平和関係団体、ネットワーク団体	247	252

国公立・大学図書館	193	195
財団役員・評議員・会員（維持・賛助）	138	138
報道関係	17	17
地方自治体	44	44
国際交流・協力機関・団体	140	179
学校（市内・県内の小・中・高等学校等）	71	183
広島市・広島県関係個人・部署・団体（配架含む）	509	2,427
広島平和記念資料館来館者等への配布	—	1,067
合 計	—	5,000

英文機関紙「PEACE CULTURE」配布状況

令和 6 年 3 月 31 日現在

区 分	件 数	部 数
国内個人・団体	88	128
市内平和関係団体、ネットワーク団体	13	13
国公立・大学図書館	16	17
報道関係	3	3
地方自治体	44	44
国際交流・協力機関・団体	110	148
学校（市内・県内の大学、専門学校等）	12	105
駐日大使館	154	154
広島市・広島県関係個人・部署・団体（配架含む）	20	114
広島平和記念資料館来館者等への配布	—	1,274
合 計	—	2,000

（２）事業報告「平和と交流」の作成

本財団の組織内容、予算書、決算書や事業の詳細な紹介・広報を目的として、事業報告「平和と交流」の 2024 年版（令和 5 年度事業）（A4 判、164 頁、PDF 形式）を作成し、令和 6 年 8 月 26 日付で本財団のホームページに掲載しました。

- （経緯） 1 昭和 42 年（1967 年）10 月 13 日に広島市の一局として広島平和文化センターが発足し、昭和 46 年（1971 年）3 月 31 日に「平和と交流」の前身である「平和の推進」を創刊しました。その後、昭和 48 年度と 50 年度に隔年で刊行しました。
- 2 昭和 51 年（1976 年）4 月 1 日の財団化に伴い、「平和の推進」に新しい内容を盛り込み、財団の事業内容や原爆・平和に関する有益な情報を提供するため引き続き刊行し、昭和 52、54、56、58 年度までは隔年で、昭和 59 年度からは毎年刊行しました。
- 3 平成 10 年（1998 年）4 月 1 日、組織改正により財団法人広島平和文化センターと財団法人広島市国際交流協会が統合され、本報告書の名称を「平和の推進」から「平和と交流」と改めました。
- 4 平成 19 年度（2007 年度）からは冊子形式による作成を中止し、ホームページ（<https://www.pcf.city.hiroshima.jp/hpcf/jigyoo/>）での公開となりました。

(3) インターネットによる情報の発信

本財団の情報公開を進めるとともに、国内外の方々へ平和文化の普及を目的として、本財団の概要（設立目的、沿革、事業紹介、組織など）や機関紙「平和文化」などを日本語と英語で掲載したホームページを平成 16 年（2004 年）4 月 1 日に開設しました。令和 5 年 2 月 1 日にはデザインを一新し、スマートフォン等に対応したレスポンスデザインを採用しました。

令和 5 年度のアクセス件数は 228,397 件でした。

URL : <https://www.pcf.city.hiroshima.jp/hpcf/>



(4) 学会への助成

紛争の諸原因と平和の諸条件に関する科学研究を行うことを目的として、日本平和学会が昭和 48 年（1973 年）に発足しました。この学会の平和研究の促進を図るため、昭和 63 年度（1988 年度）に入会し、平成 27 年度（2015 年度）からは賛助会員となり、年間 3 万円を助成しています。

7 広島平和記念資料館ホームページ及びデータベースの管理・運用

(1) 広島平和記念資料館ホームページ

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を世界に訴え、国際世論を醸成していくため、原爆・平和に関する情報を発信しています。

● 広島平和記念資料館ウェブサイト

平成 7 年（1995 年）8 月から広島市のホームページの中に平和宣言や原爆被害の概要を掲載し、インターネットを活用した平和情報の発信を行ってきました。

平成 29 年（2017 年）4 月からは、従来の「ヒロシマ・ピース・サイト」をリニューアルした新しいウェブサイトを開発しています。また、令和 4 年度にフランス語、ドイツ語及びイタリア語を、5 年度にスペイン語と中国語を追加し、現在外国語は英語を含む 6 言語でホームページを展開しています。

令和 5 年度のアクセス件数は 1,941,639 件でした。

URL : <https://hpmuseum.jp/>

また、子ども向け平和学習ホームページ（キッズ平和ステーション）の令和 5 年度のアクセス件数は 69,694 件でした。

URL : <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/kids/?331>



広島平和記念資料館ホームページ



広島平和記念資料館
Hiroshima Peace Memorial Museum

広島平和記念資料館Website. 日本語. Return to Hiroshima Peace Memorial Museum Website

Copyright(C)2022 Hiroshima Peace Memorial Museum

キッズ平和ステーション

(2) データベース

① 事業の概要

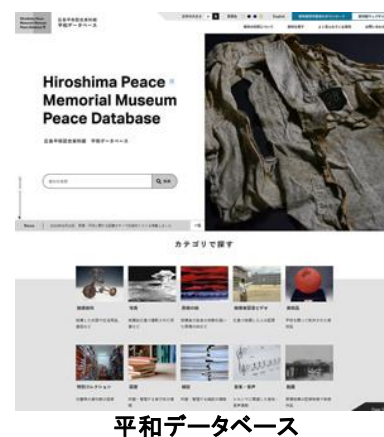
平和に関する資料を保存し、被爆体験の継承を図るとともに、多くの方々に活用していただくため、平成4年度（1992年度）から各種の情報を含む平和データベースシステムの構築を進めています。その後、広島平和記念資料館所蔵被爆資料の全データを新たに加えるなど、データベースの大幅な機能・内容の拡充を行った上、より広く活用されるよう、平成11年（1999年）12月8日からインターネットによる公開を始めました。

令和4年（2022年）2月1日には、デザインを一新するとともに、スマートフォン等で閲覧した際にも表示が最適化されるレスポンスデザインを採用したほか、資料館が所蔵する文書等の資料群の目録を公開する「特別コレクション」カテゴリーを新設するリニューアルを行いました。国立国会図書館が運用する分野横断型統合ポータル「ジャパンサーチ」のほか、広島県内の図書館等が所蔵する図書情報を収録する「広島県内図書館等横断検索」、全国の図書館等の図書情報を収録する「カーリル」でも平和データベースに掲載された情報の検索が可能となっています。

URL : <https://hpmm-db.jp/>

【公開している資料】

- | | |
|---------------|---------------|
| ①被爆資料 | ⑥原爆の絵 |
| ②平和をテーマとした美術品 | ⑦特別コレクション |
| ③原爆記録映画などの動画 | ⑧平和に関する音楽CDなど |
| ④被爆体験者証言ビデオ | ⑨平和関係図書（単行本） |
| ⑤写真 | ⑩平和関係図書（雑誌） |
| | 約10万点 |



平和データベース

② 平和データベースの利用方法

平和データベースはどなたでも自由に閲覧・検索することができます。画像・文章の無断転用はできません。

【お問合せ】

- 被爆資料、写真、原爆の絵、美術品、被爆者証言ビデオ、特別コレクションについては広島平和記念資料館 学芸課まで
電話 : (082) 241 - 4004
E-mail : gakugei@pcf.city.hiroshima.jp
- 図書（単行本・雑誌）、音楽・音声、動画については広島平和記念資料館 情報資料室まで
電話 : (082) 241 - 4004
E-mail : gakugei@pcf.city.hiroshima.jp

8 情報資料室の管理運営

(1) 施設の紹介

情報資料室は、昭和49年(1974年)6月1日に広島平和記念館2階に図書館として開設され、原爆・平和に関する資料の収集を行ってきました。その後、平成6年(1994年)6月に広島平和記念館が広島平和記念資料館東館として改築されたのに伴い、東館地下1階に情報資料室として設置されました。

この情報資料室は被爆体験を継承・伝承するとともに、平和文化の普及、高揚を図るための調査、研究の場とすることを目的として運営しています。

なお、情報資料室には、本財団の蔵書のほか、原爆資料保存会から広島市に寄託された図書もあります。



情報資料室

(2) 資料一覧 (令和6年3月31日現在)

蔵書数

● 広島平和文化センター

(単位：件)

区 分	蔵書数	区 分	蔵書数
和 書 計	30,227	産 業	304
総 記	1,917	芸 術	2,233
哲 学	517	言 語	133
歴 史	4,133	文 学	9,642
社会科学	9,385	洋 書 計	3,820
自然科学	762	雑 誌 計	39,477
技 術	1,201	合 計	73,524

(注) 同じタイトルの本が複数あるときは、1件として数える。

● 原爆資料保存会

(単位：冊)

区 分	蔵書数	区 分	蔵書数
文 学	1,464	芸 術	223
社 会	1,054	洋 書	365
原子科学	866	重要文献	149
体 験	557	目 録	67
歴 史	191	スクラップブック	193
医 学	968	合 計	6,097

購入・寄贈図書数（広島平和文化センター）

区 分	購入図書			寄贈図書		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
単 行 本	件 83	件 83	件 79	件 783	件 716	件 444
雑誌・機関紙	28	40	26	393	289	311
計	113	123	105	1,176	1,005	755

（３）利用方法及び利用状況

12 月 29 日～1 月 1 日を除いて、午前 9 時から午後 5 時まで、原爆・平和に関する図書、雑誌、各種視聴覚資料などの閲覧、被爆資料の検索ができます。また、お問い合わせにお答えするほか、コピーサービス（有料）も行っています。

利用者数

（単位：人）

区 分	人 数
令和 5 年度	7,246
令和 4 年度	5,415
令和 3 年度	3,747